

# やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.191  
2022.3

〔特集〕春の訪れ感じます

## 「お彼岸 あれこれ豆知識」

・・・ 1・2ページ

仏像・あれこれシリーズ ヘー～そうなんだ！

個性際立つ仏像の髪型 ・・・ 3ページ

ランドワークグループ研修のご報告

学びの多かった緊張の一日 ・・・ 4ページ

あの時を忘れない・・・

「東北・お遍路巡礼地」 ・・・ 5ページ

お客様の声 ・・・ 6ページ

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本

良きご縁をありがとうございます ・・・ 7ページ



### 「春一番」には意外な語源がありました。



「春一番」と言えば2月から3月20日頃の間、その年に初めて吹く南寄りの強い風のことを言います（北海道、東北、沖縄は除きます）。私のような年代（50代）はキャンディーズの「♪もうすぐは～るですねぇ♪」を思い浮かべ、ウキウキイメージの春一番ですが、実は大きな海難事故から来ているという説があります。

1859年2月13日、長崎県壱岐市で強風のため漁に出ていた船が転覆し多数の死者が出ました。漁師たちはこの南からの強風を「春一」または「春一番」と呼んだことから一般に広がったということです。強風には気を付けたいものですね。

〔特集〕春の訪れ感じます

# 「お彼岸 あれこれ豆知識」



青森店営業部 山内 一磨

こんにちは。青森店営業部の山内です。

3月を迎え、長くて厳しい冬もようやく終わりを告げようとしております。

ということで、まもなく訪れる「お彼岸」にちなんだちょっとした豆知識をお届けいたします。

## いまさら聞けない・・・お彼岸ってなあに？

### ●あの世とこの世の間には・・・

そもそも「お彼岸」って何なのでしょう？皆さんご存知のようにお彼岸は、春分の日・秋分の日を中心に前後3日間を加えた1週間のことです。でもその言葉の意味は？と聞かれると「うーん」と頭をひねる方も多いのではないのでしょうか。

この「彼岸」というのは「彼方にある岸」のことで、向こう岸・・・つまり極楽浄土がある「あの世」のことです。逆に私たちの住む世界を「此岸（しがん）」といい「この世」です。このほうがピン！とくるような気がします。そして、その間にある大きな川がいわゆる「三途の川」と呼ばれております。



実はお彼岸は仏教用語から出来た言葉なのですが、仏教の教えに、何でもほどほどが良いという「中道」という考え方があります。昼夜の長さが同じになる春分・秋分の日、また気温もほどほどの季節。これが「あの世」のご先祖様を偲ぶ日として定着していったようですね。

## ●暑さ寒さも彼岸まで

寒～い冬も、暑～い夏もこの彼岸を境に和らぎ、穏やかな季節になっていくということで、皆さんにも馴染みのある言葉かと思います。しのぎやすい季節を待ち望んでいる人々の心が反映された、慰めと救いのことばとして親しまれてきました。今年の彼岸の中日は3月21日です。ゆっくりではありますが、春の息吹が聞こえてきそうな気がしますね。

## ●ぼたもちとお萩



美味しそうなぼたもち・・・  
これが秋になるとお萩・・・  
日本の文化を感じます。

実はこれ、餅米とアンコで作られた同じ食べ物。食べる時期の季節の花を意識して名前が変わるそうです。う～ん私も知らなかった。

春は「牡丹餅」と書きこしあんを、秋のお彼岸には「萩」の花ということで粒あんを使用します。

今までは何の意識も無くばくばく食べていましたが、今年はちょっと日本の情緒をかみしめて食べてみようと思います。

## ●「国民の祝日」から見た彼岸

「国民の祝日に関する法律」によりますと、春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」、秋分の日は「祖先をうやまい、なくなった人をしのぶ日」とあります。

私たちの今があるのは、ご先祖様と自然の恵みのおかげだということを思い起こさせる大切な日なんですね。

## ●春の彼岸とお墓参り

一年の中で、春と秋の2回訪れるお彼岸ですが、青森といえはやはり雪・雪・雪・・・（特に今年は多かった）。なかなかこの時期はお墓参りに行けるとい方は少ないかと思います。無理をして怪我をしてしまつては大変です。そんなときはお仏壇に手を合わせ、ご先祖様と自然の恵みに感謝を伝えてはみてはいかがでしょうか。きっと喜んでくれるに違いありません。



仏像・あれこれシリーズ

# へえ～ そうなんだ！



青森店営業部 宮崎 陽

こちらのコーナーでは、知っているようで知らない「仏像」のあれこれをお届けしていきたいと思えます。・・・きっと誰かに教えたいくなる・・・！？

## 個性際立つ仏像の髪型

みなさんは仏像を鑑賞される時、まずどこをご覧になりますか。やさしい顔立ち？それとも威厳のあるたたずまい？

今回はちょっと視点を変えて仏像の頭（髪型）に注目してみました。

よ～く見てみると突起物がついていたり、トゲトゲだったり、仏像によって髪型が様々で思わず見入ってしまいますが、いくつかご紹介いたします。

螺髪<らほつ>	宝髻<ほうけい>
<p>”パンチパーマみたいな髪型”・・・（大変失礼いたしました）</p> <p>仏像と言えはほとんどの方が、この髪型を思い浮かべるのではないのでしょうか？これは、悟りを開いた仏様のみに許された髪型であり如来像のみの特徴です。</p> <p>ちなみにぐるぐると渦を巻いていますが、原則右巻きだそうです。へえ～。</p>	<p>”きれいに結っている”</p> <p>仏像の中で一番私たちに近い髪型です。</p> <p>頭上高くに1つ結いしたり、お団子状にまとめたりバリエーションは豊富です。この髪型の際は、必ず髪飾りや宝冠などの装飾品とセットになっています。</p> <p>菩薩像に多くみられる髪型ですが、これはお釈迦様が王子様の頃だったものがモデルだそうです。</p>
炎髪<えんぱつ>	弁髪<べんぱつ>
<p>”逆立っている”</p> <p>まるで炎の様に逆立っている事からこの名前がつけられました。</p> <p>怖い顔をしている明王像などに多くみられますが、私たちが救うべく、厳しさと優しさを備えた表情と言えます。</p>	<p>”結った髪を垂らしている”</p> <p>宝髻と似ていますが、不動明王像だけの髪型。左耳の前から結った髪を垂らしているのが特徴です。</p> <p>結った髪がふたつだったり、ウェーブしていたり蓮の花が乗っていたりと、意外とバリエーションが豊富です。</p>

仏像も、人間と同じで髪型で感情や個性などが強く反映されていると思えます。仏様それぞれに合った髪型をしていらっしゃるのとはとても新鮮でした。

ランドワークグループ研修のご報告

# 学びの多かった 緊張の一日



青森店営業部 平田響子

こんにちは。青森店営業部の平田です。

実は私たちやまと石材は、全国に36店舗を構える日本最大級の墓石専門店「ランドワークグループ」の一員です。そのグループが主催する研修・・・その名も「中堅シャープ（尖鋭）人材研修」が昨年11月に仙台市で行われました。やまと石材からの参加は私一人でしたので、緊張しながら臨みました。

今回の研修の目的は、管理職としての責務や在り方を学び、グループ・各事業会社を牽引する人材の育成についてです。そしてもう一つは営業の本来の目的について学んできました。

研修では三人の講師から、実体験を踏まえた管理職としての心得などをお話いただきました。その中で中国古典の荘子の故事「木鶏」や、同じく故事から「菜根譚」についてお話をいただきました。特に「菜根譚」では、大事なことは「徳」であること、人格が大事なのだと学びました。

午後はグループワークを行いました。参加したグループの中で私以外は店長、支店長クラスです。この時間が一番緊張しました。ただ、今まで知らなかったグループ会社の様子などを詳しく知ることができ、大変勉強になりました。地域によって墓石のデザインや風土が違うなど、驚くことばかりです。

今回の研修に参加し、たくさんのことを学び、情報の共有をさせていただきました。講師の方のお話はもちろん、グループワークで

のディスカッションやグループ会社の特徴を生で聞くことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。この場で学んだことをやまと石材で活かし、お客様に喜んでいただけるよう頑張ってます。



周りを見渡せば、各店舗から参加されたお偉い方ばかり・・・そんな中に放り込まれた私・・・何かひとつでも持って帰るぞ！という意気込みで必死に食らいつきました！

あの時を忘れない・・・

# 「東北・お遍路巡礼地」



業務課 大澤 隆則

今回は数年前、岩手県普代村に建立した記念碑のご紹介です。

2011年3月・・・「東日本大震災」は今でも忘れることが出来ません。各地に甚大な被害をもたらしました。

皆さんも、テレビなどでの巨大な津波の映像が、目に焼き付いているのではないのでしょうか。しかし、岩手県普代村では、巨大な水門が地域の人々を守ったという事例もあるのです。

普代川河口に設置しております幅205m、高さ15.5mもの水門が普代村の人々を津波から守りました。津波の高さは20mを越えたそうですが、水門から200m付近で津波は止まったのだそうです。

この、普代川普代水門のほとりに、記念碑を建立することとなり、当社が施工させていただきました。その名も「東北・お遍路巡礼地」

この記念碑建立のお話をいただいてから、何度もデザインの打ち合わせを繰り返しました。そして何度目かのデザイン案でようやくGOサインをいただきました。しかも、私が頭をひねって考えたデザインを採用して頂き、少し恥ずかしく、少し誇らしい気もいたします。

今回、東日本大震災の記憶を残すための仕事に携われたことは、やまと石材にとっても私個人にとっても、大変誇りに感じるものでした。



岩手県普代川の石碑です。水門に向けて手を合わせるようなコンセプトでデザインしました。

## お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。本当にありがとうございました。

# 良いお墓ができ、 大変満足しております。

弘前市・小野様

この度は、大変お世話になりました。お陰様で「無事にお墓を建立することができました。

はじめは、他店とも比較しましたが、やまと石材様の対応が一番良かったと思われました。担当の伊藤さんには、大変熱心に色々説明してもらいました。また、こちらの要望や度重なる変更にも嫌な顔もせずに対応して頂きました。

我々にとって全てが初めてのことで、色々戸惑いもありましたが、納骨式とかのアドバイスも適切にして頂いて、本当に助かりました。

この度は、良いお墓を建てることができ、大変満足しております。本当に有難うございました。



人気のグレー系御影石をお選びいただきました。シンプル且つ、お墓参りのしやすいお墓が完成いたしました。花立に彫刻したお花が素敵ですね。

## 担当者からひとこと

小野様、この度は大切なお墓づくりを当社に託していただき誠にありがとうございました。

無事にご納骨することができ、私もホッとしております。小野様にご満足いただき私も大変嬉しく思います。今後とも何卒宜しく願い致します。



弘前店営業部 伊藤 杏美



「大切な人に贈りたい」  
いつまでも語りつがれる絵本

「木を植えた男」

ジャン・ジオノ／原作 フレデリック・バック／絵 寺岡 襄／訳

青年は、南仏プロヴァンスの荒涼とした山脈（やまなみ）を何日も歩き続けた。たどり着いた小さな村は、廃墟と化し井戸には一滴の水も無かった。そこで孤独な羊かいたの男に出会った。男は一日に100個のどんぐりを植え続けていた。時には、苗が全滅するという絶望を味わいながら、30年以上に渡りひたすら自分の仕事に打ち込んだ男のもたらしたものは？

第13回絵本にっぽん賞特別賞を受賞したこの絵本は多くの人々に深い感動を与え続けています。

ひとつのことを長く続けるのは、なかなか難しいものです。継続して何かをするということが苦手な私ですが、絵本の紹介を始めるようになり随分たちました。絵本を手にして下さった皆様の心の中に蒔かれた言葉の種が、いつか一つでも芽吹くことを祈ります。

ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

- 平川市八幡崎
- 東津軽郡平内町
- 東津軽郡平内町
- 三戸郡田子町
- 青森市勝田
- 弘前市千年
- 青森市浜館
- 青森市中佃
- 東津軽郡今別町
- 青森市千刈
- 五所川原市湊
- 南津軽郡藤崎町
- 黒石市柵ノ木
- 青森市沖館
- 青森市富田
- 黒石市大町
- 青森市南佃
- 弘前市宮園
- 青森市三内
- 東京都品川区八潮
- 青森市西滝
- 黒石市柵ノ木
- 青森市六枚橋
- 五所川原市金木町
- 弘前市藤内町

- 花田様
- 蛸名様
- 石岡様
- 川下様
- 長内様
- 毛内様
- 田中様
- 上田様
- 田村様
- 対馬様
- 関田様
- 成田様
- 工藤様
- 関谷様
- 越田様
- 相澤様
- 大澤様
- 山本様
- 安田様
- 花田様
- 小川様
- 中村様
- 佐井様
- 澤田様
- 佐藤様

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

編集後記

ようやく春の訪れを感じる季節となりました。あんなに積もっていた雪も心なしか減ってきているような気がします。それに合わせて、道路も少し広くなりました。雪国の人にしかわからない感覚ですね。

(佐々木)

Landwork 日本最大36店舗の  
ランドワークグループ 墓石専門店グループ



【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13  
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1  
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録!



青森 やまと石材

検索